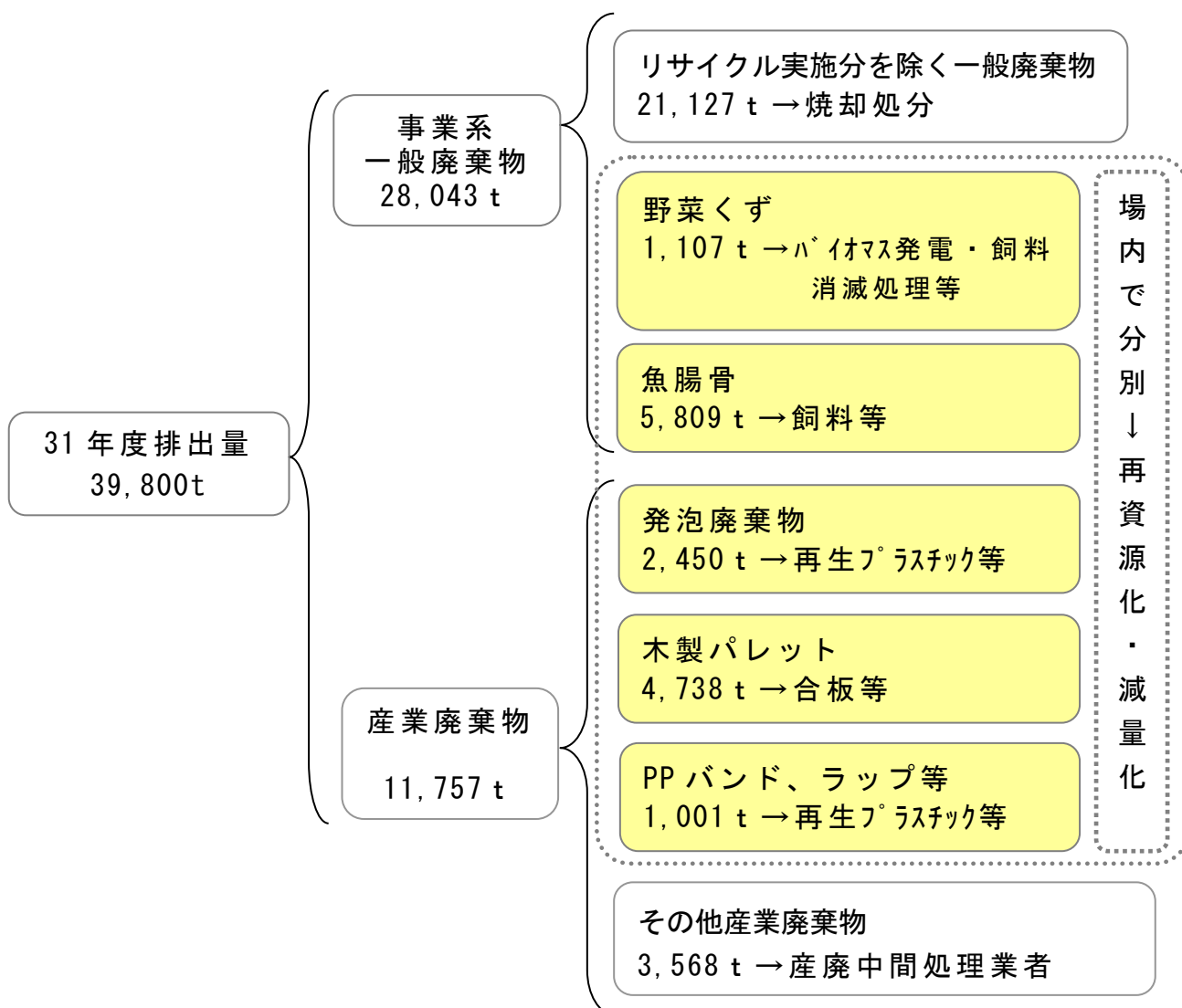


東京都中央卸売市場 廃棄物処理及びリサイクルの現状と課題



※廃棄物内訳は単位未満を四捨五入しており、内訳の合計と全体排出量が一致しない場合がある。

- 一般廃棄物の排出量は28,043トンであり、このうち清掃工場で焼却処分されるごみは約75%の21,127トンです。野菜くずは1,107トン、魚腸骨は5,809トンが再資源化されており、段ボール(集計外)はほぼ全てが再資源化されています。
- 産業廃棄物の排出量は11,757トンであり、発泡廃棄物2,450トン、木製パレット4,738トン、PPバンドやラップ等1,001トンが主に場内で分別され、再資源化業者に持ち込まれています。これらを除く3,568トンは産業廃棄物中間処理業者へ持ち込まれ、分別のうえ再資源化やサーマルリサイクル(熱回収)等されています。
- 市場で排出された39,800トンの廃棄物のうち、野菜くず、魚腸骨、木製パレット、発泡廃棄物、PPバンド等の15,105トン(全体の約38%)は、主に場内で分別し再資源化業者に持ち込まれています。今後、ごみの発生量を抑制するとともに、リサイクルの一層の推進を図ることが課題となっています。